

(別添2-2)

## 令和4年度 長崎県立島原翔南高等学校 学校関係者評価 報告

### 1 評価の実施期日・場所等

日時：令和5年2月17日（金）

場所：長崎県立島原翔南高等学校 校長室

### 2 学校関係者評価委員

嶋田 惣二郎 様（学校評議員） 出席

楠田 耕三 様（学校評議員） 出席

谷口 誠志 様（学校評議員） 出席

楠田 純子 様（学校評議員） 欠席

### 3 学校関係者評価の内容

#### (1) 教育活動全般について

- ・総合学科の長所を生かした教育が実践されている。
- ・諸先生方が頑張って教えていただいている。
- ・保護者からの要望を確認し、対応をお願いしたい。
- ・部活動への参加について生徒の評価が下がっているが、少ない人数でモチベーションを維持するのは難しいと思われる。

#### (2) 学習活動について

- ・多くの生徒が意欲的に学習に参加していると思う。
- ・1、2学年の出席率が3学年より低いようだ。全員無欠席を目標にするのも良い。
- ・生徒、保護者とも評価が伸びているのが、現実的な意見だと思う。

#### (3) 進路指導について

- ・地元就職する生徒が多いのは、たいへん好ましい傾向だと思う。
- ・各種検定にもう少し多くの生徒が挑戦して欲しい。合格者増が自信につながる。
- ・ほとんどの生徒が県内就職、進学ということである。人口流出が著しい長崎県、なおかつ人口減の島原半島に残ってくれることはありがたいことだ。

#### (4) 教育環境の整備と美化意識の高揚について

- ・広い敷地だが、いつもきれいな環境に保たれている。
- ・恵まれた環境を当たり前と思わず、新しく美しい環境を自分たちで築いてほしい。
- ・以前と比較すると、断然きれいになっている。

#### (5) 保護者、地域等と一体となった教育活動の展開について

- ・ 広報活動などを活発に行われており、地域とのつながりも深い。
- ・ コロナ禍のため地域の人が学校を訪れる機会が少なくなり残念である。
- ・ 地域の海岸清掃、フレンドリーパークの花の植栽、清掃など頑張っている。
- ・ 保護者の評価が伸びていると感じる。

#### (6) 日頃の本校生の様子（身なり、あいさつ、印象等）について

- ・ 全体的に落ち着きがあり、規範意識も高い。
- ・ よく挨拶をしてくれる。
- ・ 先生方の指導が子どもたちに良く浸透しており、嬉しく思う。
- ・ 卒業式に出席させていただき、あらためてきちんとしていると感じた。

#### (7) 本校に対する提言、助言

- ・ 地元企業や行政機関と連携した取り組みを推奨されており、地域に密着した学校だと感じている。
- ・ 生徒数が少ないのは残念だが、現在の取組みを継続すると今後増加するのではないか。
- ・ 教育には「学び」がなければならない。教え育むことと、自分で学ぶことには大きな差がある。自主性が必要である。人の技術は真似をしながら学ばなければならない。
- ・ 環境美化に特化した活動が盛んにおこなわれているが、その他にもSDGsを意識した活動に取り組んでほしい。色々な引き出しがあることを教えていただきたい。
- ・ ボランティア活動には有償、無償のものがあるが、社会に出るとこの無償部分はその人の価値として評価される。人の痛みがわかる人間になってほしい。
- ・ 横断幕は地元の人々が興味をもっておられた。予算があれば第2弾も期待したい。